

Japan Outbound Tourism Council  
アウトバウンド促進協議会

**教育旅行セミナー説明会 議事録**

1 開催日時・会場：2017年12月22日（金）10時～12時10分、JATA7階会議室

2 参加者：別紙の通り18名+JATA6名

3 目的

若者市場拡大に向け、18年度に計画予定の地方都市での中学高校の教職員を対象にしたセミナー開催について、当事者である観光局を中心とした関係者の方々との意見集約のためのミーティング。

4 発言要旨

\* 権田 JATA 海外旅行推進部長の冒頭挨拶

若者の渡航者数拡大は、国の交流プログラムでも注力すべき重要なテーマのため、出国税の一部をアウトバウンド促進のために支出可能と思われる数少ない分野。今回参加いただいた皆様方の意見を伺ったうえで、最も効果的と思われる内容で次年度のセミナー計画を策定したい。

\* 事務局保坂が資料に基づき JATA としての取り組み方針を以下の通り説明

修学旅行と研修旅行の違いを説明したのち、以下の点に言及。

- ①実施校ではなく、未実施校の教職員を対象にして1会場当たり100名程度を目標。
- ②修学旅行ではなく、研修旅行（語学研修、体験学習、平和教育、企業視察等）を対象にすることで、セミナーやワークショップに参加するハードルを下げたい。
- ③実施時期・都市については、JATA6支部と相談しながら、18年度に2～3か所で実現したい。
- ④将来的な渡航者数拡大につなげるために、旅行会社の営業力強化につながるようなイベントにしたい。

\* 上記のような事務局案に対する発言は以下の通り。

- ①日本の近隣諸国（韓国・台湾・マカオ等）は研修旅行ではなく修旅誘致に重点を置きたい。
- ②中国・タイ・ハワイ・南ア・NZ・豪・米等は、日数・旅行費用等の関係から研修旅行誘致を希望。
- ③学校同様地方の旅行会社のセールスマンも情報不足なので、旅行会社対象のセミナー・ワークショップ開催も重要。
- ④地方空港・メディアとのタイアップも重要。
- ⑤過去開催の例では、セミナー終了後ワークショップに立ち寄るのは参加者の5%程度。従って特に未実施校にはワークショップはハードルが高いと思われる。10分程度でも構わないので観光局のプレゼンの機会は是非とも欲しい。

## Japan Outbound Tourism Council

### アウトバウンド促進協議会

- ⑥メルマガ等を利用して、事前にセミナー登録者に情報配信し、コミュニケーションを取る手段を導入したらどうか？観光局のプレゼンをWEB上で確認できる方法も効果的か？
- ⑦ 海外修学旅行の教育効果をアピールすることが第一ステップ、その次にデステイネーション
- ⑧ 学校関係からの参加者に事前に観光局が提供する基本情報（デステイネーション情報、交流プログラム、成功事例、安全情報など）が流せればより効果的ではないか
- ⑨ 危機や政治的問題発生にも拘わらず、実施した学校の担当者から話が聞けないか